

神奈川県 大鋸児童館こどもエコクラブ（藤沢市 児童館のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

海洋汚染「マイクロプラスチック」が問題で、私たちの住む地球と海が、どのような危機にさらされているか、（公財）かながわ海岸美化財団（地域連携）を訪ねました。学習する前と後では子どもたちの意識ははっきりと変わってきました。海にはこんなにもたくさんのゴミが集まってくる・動物の被害が心に響いたようでした。全国の皆さんに海のゴミについて知って頂きたく、地元江ノ島をバックに、新聞の中心にアピールしました。

農業栽培としてお祝いのときによく出てくるアズキを育ててみました。アズキは手のかからない作物でしたのでたくさん収穫でき、赤飯にしておいしく食べることができました。アズキは料理から遊びまで（お手玉）いろいろな役割があることを学びました。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

海のゴミには、人の生活のゴミがたくさんありました。海から遠く離れた街の中でポイ捨てされたゴミが、川を通して最後には海の生物のお腹に入ってしまう命を脅かします。一人ひとりの意識がとても大切であることを痛感しました。皆さんもゴミは決められた捨て方をするようにお願いします。

コーディネーターからのメッセージ

大鋸児童館こどもクラブの壁新聞は近年大きな問題となっているプラスチック問題を大きく取り上げ、調査に基づき、よく考えていると感じました。また、内容にあった写真や絵が上手に使われ、読みやすく、興味を引くよう工夫されていました。海岸のゴミ拾いなどの環境活動もとても素晴らしく、来年度の環境活動も壁新聞を通して拝見できることを楽しみにしています。（神奈川県事務局）